



初めての防災訓練

下柏田行政

これまで当行政区の防災関連施設・設備は、既存の消火槽、消火栓などのほかは皆無と言って良い状況でしたが、一昨年自主防災組織を結成し、防災倉庫と防災資機材を整備すると共に、耐震構造の新区民会館や防災用井戸も併せて整備する事ができるなど、防災体制を飛躍的に向上させる事が出来ました。

防災体制の整備や区民の防災意識が高まりを背景として、今年の 11 月 28 日、当行政区にとっては始めてとなる防災・炊き出し訓練を実施しました。

当日は、牛久消防署、消防団各位のご協力のもと、区民約 70 名が参加し、AED 操作などの救急救命訓練、消火器使用訓練、炊き出し訓練、防災機器使用訓練などを実施しました。

1. AED 操作訓練

消防署員の指導により、参加者を数班に分け訓練用の AED と人形を使用し操作手順や操作方法を実習しました。

AED 操作への参加者の関心は非常に強く、各参加者が交代で実習したり、消防署員との活発な質疑応答が行われました。



2. 消火器使用訓練

消防署員による消火器の種類や構造、使用方法の説明を受けた後、参加者が交代で消火器の操作と放水を実習しました。



3. 炊き出し訓練

子ども会も参加し、盛大に実施されました。

炊き出しのメニューは、災害発生時に使用を想定している^{かまど}竈と^{はがま}羽窯、卓上用ガスコンロ、バーベキュー用調理具等によるおにぎり、豚汁、焼きそば等で、調理後、全員が屋外と館内で試食しました。

今回の主目的は災害発生時の炊き出し訓練ですが、全員が役割



を分担して炊き出し作業を行い、全員で試食する事により、区民同士の親睦や協力関係の構築という面においても大きな成果が得られました。

4. 防災機器使用訓練

災害発生時の停電を想定し、防災用井戸ポンプ稼動用の専用発電機、或いは館内の電気機器を稼働させる為の大容量発電機の運転、各種電気機器への接続訓練等を実施しました。



発電機稼働訓練